

4-2 城野駅北土地区画整理事業(独立行政法人都市再生機構施行)
 -城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業-

●城野ゼロ・カーボン先進街区形成事業

JR城野駅北側の未利用国有地やUR城野団地を中心とする城野地区(18.9ha)において、エコ住宅や創エネ・省エネ設備の設置誘導、エネルギーマネジメントによるエネルギー利用の最適化、公共交通の利用促進など、様々な低炭素技術や方策を総合的に取り入れてゼロ・カーボンを目指した住宅地区を整備しました。

●事業の位置づけ

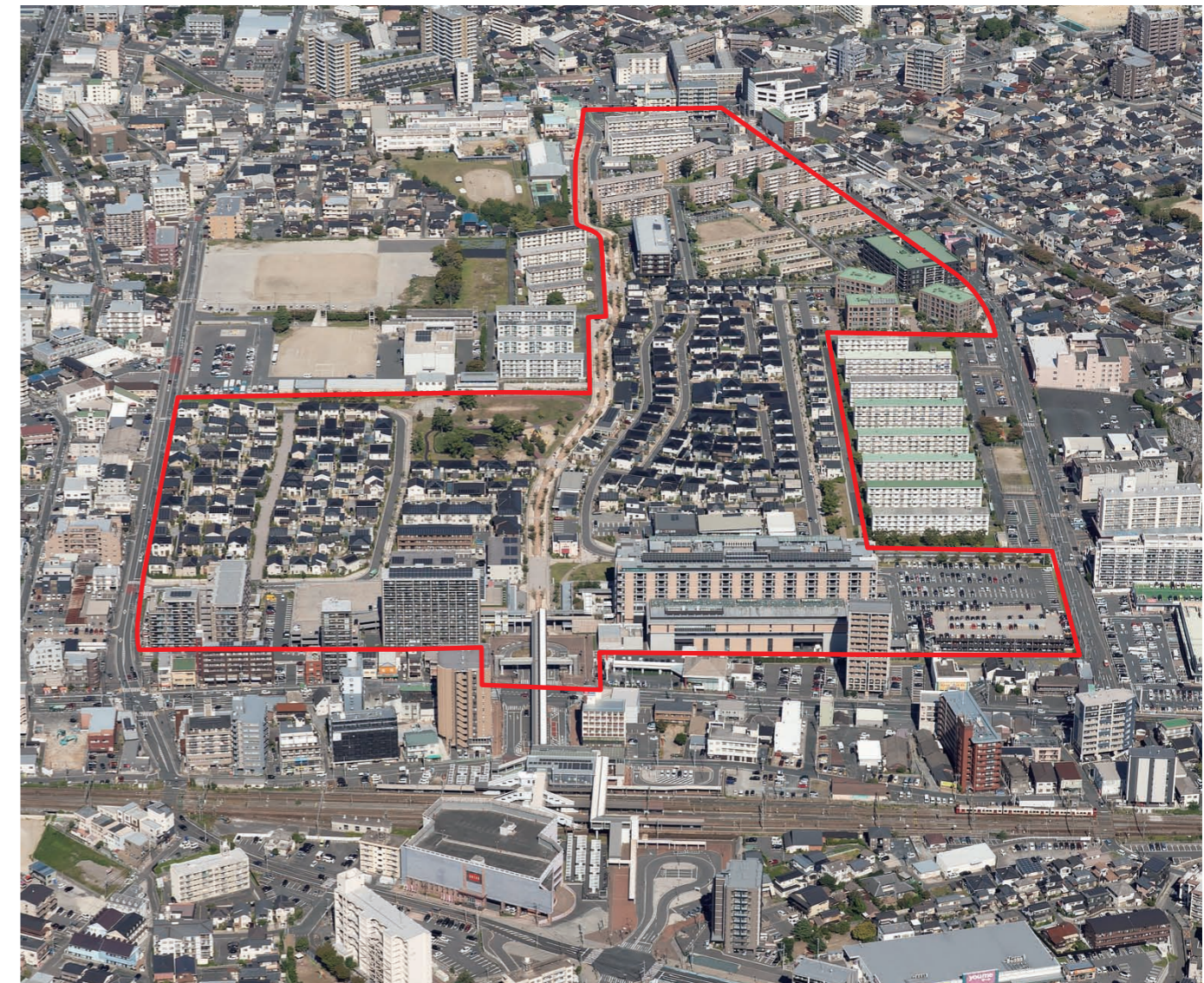
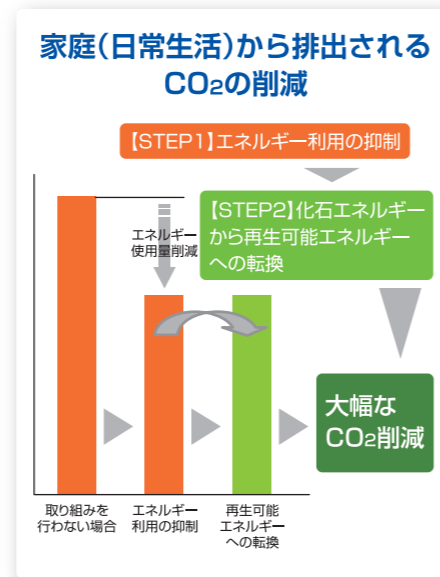
北九州市は、平成20年7月に「環境モデル都市」に政府から選定されました。

本事業は、市民が低炭素型のまちづくり*の具体的な姿を見て感じることができる「街区モデル」として取り組んでいます。

また、平成23年12月に政府から選定された北九州市環境未来都市の主要なプロジェクトとして、事業を推進しました。

※低炭素型のまちづくりとは・・・

ここでは、家庭の電気、ガス等を使用することで排出される二酸化炭素(CO₂)を対象として、様々な取り組みを導入し、街区レベルにおけるCO₂排出量を理論上「ゼロ」にすること(ゼロ・カーボン)を目指したものの。



施行済(2022.10撮影)



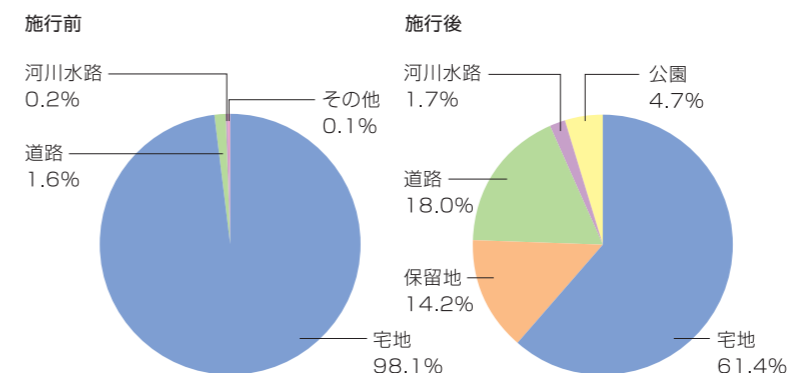
施行中(2015.9撮影)

施行者 独立行政法人都市再生機構
 施行面積 18.9ha
 施行期間 平成24年度～平成28年度
 総事業費 5,294百万円
 減歩率 37.3%
 (公共22.8%、保留地14.5%)

●主な公共施設の整備

都市計画道路	1路線、延長800m
区画道路	幅員6～15m、延長2,757m
歩行者専用道路	延長166m
公園	2か所、面積8,260m ²
広場	1か所、面積500m ²

●土地利用状況



●関連事業

- 城野駅北口線
幅員40m、延長130m(北口駅前広場)
- 歩行者専用道路16号線
幅員6m、延長180m(駅前ペDESTリアンデッキ)
- 城野駅北自転車駐車場